
東京都微生物検査情報

MONTHLY MICROBIOLOGICAL TESTS REPORT, TOKYO

第46巻 第6号
2025年6月号
月 報



東京都健康安全研究センター

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

ISSN 1883-2636

病原体レファレンス事業に基づく病原体等の収集と解析結果（令和6年度）

病原体レファレンス事業は、都内で発生する感染症の病原体等を積極的に収集し、病原体の性状や遺伝子を比較・解析することにより流行型の血清型や薬剤耐性、遺伝子変異等を把握し監視していくことを目的としている。

本事業では、医療機関や保健所等の協力により主として感染症法では収集体制が確保されていない病原体の収集と、積極的疫学調査で実施した麻しん検査における陰性検体の類症鑑別診断等を実施している。

1. 協力医療機関から収集した病原体の解析

令和6年度に都立病院及び都保健医療公社病院から搬入された病原体（菌株）は表1の通りで、主な病原体の解析結果について以下に示す。

1) カンピロバクター

カンピロバクター属菌は77株が搬入され、内訳は *Campylobacter jejuni* 72株（93.5%）、*C. coli* 5株（6.5%）であった。由来別にみると、糞便由来が70株（90.9%）で多くを占めていたが、他には血液由来5株（*C. jejuni*）、腸液由来2株（*C. jejuni* 1株、*C. coli* 1株）であった。

C. jejuni 72株について、令和4年度から従来の血清型別に代わり、Penner PCR法を用いた遺伝子型別による解析を行ったところ、70株が12種類に型別され、2株は型別不能であった（型別率は97.2%）。検出された遺伝子型は、HS2：23株（31.9%）、HS4c：16株（22.2%）、HS19：10株（13.9%）、HS3：4株（5.6%）、HS1：3株（4.2%）、HS10：3株（4.2%）、HS53：3株（4.2%）等であった（表2）。

2) 大腸菌

下痢症患者由来の大腸菌は113株が搬入された。COVID-19流行以前は年間150株以上が搬入されているが、今年度は100株を超えており、徐々に以前の状況にもどつつあるといえる。

搬入された113株の大腸菌を対象にベロ毒素産生性、エンテロトキシン（LT、ST）産生性及び組織侵入性遺伝子の保有について検査を実施した。その結果、毒素原性大腸菌（ETEC）が11株（9.7%）分離された（表3）。このうち2株（O6及びOUT）は同一患者由来株でインドでの感染が疑われた。その他の渡航歴は台湾、ベトナム、ネパール、フィリピン等で全て海外での感染が疑われた。

3) サルモネラ

サルモネラは48株が搬入され、血清型別試験の結果、15種類の血清型に分類された。血清型の内訳はO4群i：-が13株、O28群 Pomona が6株、O7群 Infantis 及びO9群 Enteritidis が各5株、O4群 ParatyphiB 及びO3,10群 Muenster が各4株等であった（表4）。このうちO28群 Pomona は全てフトアゴヒゲトカゲ由来であった。このトカゲの飼い主は下痢症を呈しており、検査の結果トカゲとは異なるO3,10群 Muenster が検出された。

推定感染地は国内が23株、海外が11株、不明が7株であった。

搬入された菌株についてアンピシリン（ABPC）、セフトキシム（CTX）、ゲンタマイシン（GM）、カナマイシン（KM）、ストレプトマイシン（SM）、テトラサイクリン（TC）、クロラムフェニコール（CP）、ST合剤（ST）、ナリジクス酸（NA）、シプロフロ

キサシン（CPFX）、ノルフロキサシン（NFLX）、ホスホマイシン（FOM）を用いた薬剤感受性試験を実施した。その結果、1 薬剤以上に耐性を示したのは 11 株（55%）であった（表 5）。特に O4 群 i：- の薬剤耐性率は高く、13 株中 8 株（61.5%）が薬剤耐性菌であった。治療に用いられるフルオロキノロン系薬剤に耐性を示す株は認められなかった。

4) エルシニア

エルシニアは 5 株が搬入され、いずれも *Yersinia enterocolitica* であった。血清群は O8 群が最も多く 3 株、O3 群および O9 群は各 1 株ずつであった。

5) リステリア

リステリアは 2 株が搬入され、いずれも *Listeria monocytogenes* であった。血清型は 1/2a および 4b であった。渡航歴は 1 株は認められず、1 株は不明であった。

5) レンサ球菌

レンサ球菌は 36 株搬入され、その内訳は A 群が 9 株、B 群が 23 株、G 群が 4 株であった。

A 群レンサ球菌はすべて *Streptococcus pyogenes* であり、その T 血清型は 1 型、3 型、4 型、11 型、14/49 型が各 1 株、型別不能が 1 株であった。

B 群レンサ球菌 (*Streptococcus agalactiae*) 23 株の血清型は、Ia 型が 6 株、Ib 型が 4 株、II 型が 1 株、III 型が 4 株、V 型が 4 株、型別不能が 4 株であった。また G 群レンサ球菌 4 株は、全株が *Streptococcus dysgalactiae* subsp. *equisimilis* であった。

6) 肺炎球菌

肺炎球菌として 4 株が搬入され、莢膜膨化法による血清型別を実施した結果、3 型が

2 株、28F 型が 1 株であった。1 株は肺炎球菌ではなかった。

7) 黄色ブドウ球菌

黄色ブドウ球菌は 10 株搬入され、全株がメチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) であった。MRSA のコアグラゼ型は II 型が 2 株、III 型が 3 株、VII 型が 4 株、型別不能が 1 株であった。

8) インフルエンザ菌

インフルエンザ菌は 14 株搬入され、血清型別を実施した結果、全株が型別不能であった。

9) その他

同定依頼としてカルバペネム耐性腸内細菌目細菌の薬剤耐性遺伝子検査依頼が 6 株、*Corynebacterium diphtheriae* の毒素遺伝子検査が 1 株、*Staphylococcus aureus* の SCCmec 型別検査が 1 株あった。さらに、その他の同定検査依頼として 5 株が搬入された。

2. 麻しん・風しんウイルス検査（積極的疫学調査）陰性例における類症鑑別検査とその他の依頼検査

麻しん・風しんが疑われる全症例に対して、積極的疫学調査で麻しんウイルス及び風しんウイルスの検査を行っている。病原体レファレンス事業では、麻しん・風しんウイルス陰性例を対象に発しん症起因ウイルスの類症鑑別検査（ヒトパルボウイルス B19、2 歳以下についてはヒトヘルペスウイルス検査を追加）を実施した。162 件の麻しん・風しん陰性検体について類症鑑別検査を行った結果、ヒトパルボウイルス B19 が 25 検体から検出された。また、ヒトヘルペスウイルス 6 型が 7 検体、同ウイルス 7 型が 1 検体から検出された。

食品微生物研究科

食中毒・腸内細菌研究室

病原細菌研究科

ウイルス研究科

内谷 友美

高橋 久美子

表 1. 対象病原体(令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月)

病原体	菌株数
カンピロバクター	77
大腸菌（下痢症患者由来株） ¹⁾	113
サルモネラ	48
エルシニア	5
リステリア	2
レンサ球菌 ²⁾	36
肺炎球菌 ²⁾	4
黄色ブドウ球菌 ³⁾	10
インフルエンザ菌 ²⁾	14
その他	13
その他同定依頼	1*
計	323

¹⁾ 腸管出血性大腸菌を除く

²⁾ 劇症型及び侵襲性感染症由来株を除く

³⁾ 感染症由来株を除く

*: *E. albertii* 疑い株であったが、*E. coli* であった

表 2. *C. jejuni* の遺伝子型 (Penner PCR 法)

遺伝子型	菌株数	(%)
HS2	23	(31.9)
HS4c	16	(22.2)
HS19	10	(13.9)
HS3	4	(5.6)
HS1	3	(4.2)
HS10	3	(4.2)
HS53	3	(4.2)
HS5	2	(2.8)
HS8c	2	(2.8)
HS15	2	(2.8)
HS23c	1	(1.4)
HS37	1	(1.4)
型別不能	2	(2.8)
合計	72	(100.0)

表 3. 毒素原性大腸菌の血清型

血清型	産生毒素	菌株数	渡航歴
O159:H43	ST	3	台湾
O169:H41	ST	2	インド、南アフリカ
O6:H16*	LT、ST	1	インド
O25:NM	ST	1	ベトナム
O126:H12	LT	1	ネパール、バングラデシュ、インド等 6 か国
OUT:H21*	ST	1	インド
OUT:NM	LT	1	フィリピン
OUT:H11	ST	1	インド

* 同一人物由来株 OUT:O 群型別不能

表 4. サルモネラの血清型

O 群	血清型	菌株数	O 群	血清型	菌株数
O4	i : -	13	O4	Typhimurium	1
O28	Pomona	6	O4	Saintpaul	1
O7	Infantis	5	O4	Schwarzengrund	1
O9	Enteritidis	5	O4	Stanley	1
O4	ParatyphiB	4	O7	Braenderup	1
O3,10	Muenster	4	O8	Narashino	1
O7	Virchow	2	O30	Urbana	1
O8	Nagoya	2	合計		48

表 5. 薬剤耐性を示したサルモネラの血清型と薬剤耐性パターン

O 群	血清型	薬剤耐性パターン	推定感染地	菌株数
O4 群	i : -	ABPC,ST,CP,SM,TC	国内 (1) ,不明 (2)	3
O4 群	i : -	ABPC,SM,TC	国内 (1) ,不明 (2)	3
O4 群	i : -	TC	国内	1
O4 群	i : -	KM,TC	国内	1
O4 群	Schwarzengrund	KM,SM,TC	国内	1
O7 群	Infantis	TC	国内	1
O7 群	Virchow	NA	タイ	1

表1 病原体搬入・検出状況(4種等)※

2025 年 6 月分

機関名		コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフス A 菌	腸管出血性 大腸菌	結核菌
区	千代田区					2	
	中央区			1			
	港区					2	1
	新宿区					1	
	文京						
	台東						2
	墨田区						
	江東区						
	品川区					1	
	目黒区						
	大田区						1
	世田谷						2
	渋谷区					1	
	中野区					1	
	杉並区						
	豊島区					1	
	北区					2	
	荒川区						
	板橋区						
	練馬区					1	
	足立区						
	葛飾区						1
	江戸川						4
市	町田市						
	八王子市					1	1
小 計						13	12
都	西多摩						
	多摩立川					1	
	南多摩						1
	多摩府中						
	多摩小平						2
	島しょ						
小 計						1	3
合 計				1		14	15

東京都健康安全研究 センター分離分					8	
----------------------	--	--	--	--	---	--

※2016 年 4 月より、各保健所から搬入された検体を集計することとした

表2 検体搬入状況(全数把握対象疾患-五類)*

2025年6月分

	検体数	2025年累計
侵襲性インフルエンザ菌感染症(菌)	6	46
侵襲性髄膜炎菌感染症(菌)	3	10
侵襲性肺炎球菌感染症(菌)	9	85
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(菌)**	10	35
播種性クリプトコックス症(菌)	0	7
合 計	28	183

*2016年4月(第37巻・第4号)から追加 **2023年5月本庁通知による名称変更

表3 病原微生物検出状況(食中毒関連)

2025年6月分

	菌 種 名	検体数	2025年累計
細菌	大腸菌		
	毒素原性		
	組織侵入性		
	病原血清型		
	腸管出血性		
	その他・不明		
	サルモネラ		
	O4		4
	O7		
	O8		5
	O9		
	その他		
	不明		
	エルシニア・エンテロコリチカ		
	エルシニア・シュドツベルクローシス		
	腸炎ビブリオ		
	その他のビブリオ		
	エロモナス		
	プレジオモナス・シゲロイデス		
	カンピロバクター	23	74
	黄色ブドウ球菌		
	F型ウエルシュ菌	5	22
	ボツリヌス菌		
	F 型ボツリヌス毒素産生性 クロストリジウム・バラティイ		
	リステリア・モノサイトゲネス		
	セレウス菌		
	赤痢菌		
	エシェリキア・アルベルティイ		
	プロビデンシア・アルカリファシエンシス		
ウイルス	ノロウイルス(G I)		17
	ノロウイルス(G II)	13	841
	ノロウイルス(G I , G II)		8
	ロタウイルス	11	24
	サポウイルス		
寄生虫	アニサキス	2	16
	クドア		
合 計		54	1011

表4 HIV 検査数及び陽性数

2025 年 6 月分

	男性		女性		性別不明		合計	
	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数
検査数	91	0	44	0	0	0	135	0
2025 年累計	541	6	240	0	2	0	783	6

表5 性感染症検査数及び陽性数

2025 年 6 月分

	梅毒検査		クラミジア遺伝子検査		淋菌遺伝子検査	
	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数
検査数	133	6	198	8	141	0
2025 年累計	777	49	1,018	34	700	1

表6 定点把握疾患別病原体分離状況（ウイルス）

2025 年過去 3 か月

定点種別	対象疾患名	検出病原体	4 月	5 月	6 月	合計
急性呼吸器感染症 (小児科・内科)		RS ウイルス	4	3		7
		パラインフルエンザウイルス	1			1
		アデノウイルス	3	7		10
		インフルエンザウイルス AH1pdm09	4	3		7
		インフルエンザウイルス AH3	9	1		10
		インフルエンザウイルス B 型 Victoria 系統	9	6		15
小児科	不明発疹症	アデノウイルス		1		1
眼科	流行性角結膜炎	アデノウイルス	1	1		2

◆ 東京都微生物検査情報 ◆

2025年7月25日

編集・発行

東京都健康安全研究センター

東京都感染症情報センター

〒169-0073

東京都新宿区百人町 3-24-1

TEL : 03-3363-3213

FAX : 03-5332-7365

S1153803@section.metro.tokyo.jp

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>

(2023年7月1日よりURLを変更しました)